

◆教育・保育の需要見込みの乖離状況

資料2-1

○計画と「中間年の見直しのための考え方(作業手引き)」で算出した需要数、需要率の乖離状況(平成28年4月1日実績) 単位:人

区分		計画 A (需要見込み)	潜在ニーズ B ※1 (手引きより算出)	見込み差 B-A	需要数の乖離率 B/A ※2	
1号認定	需要数	3,112	3,273	161	105.17%	
	需要率	53.81%	54.99%	1.18%		
2号認定	需要数	2,457	2,608	151	106.15%	
	需要率	42.49%	43.82%	1.33%		
3号認定	0歳	需要数	638	770	132	120.69%
		需要率	27.98%	29.64%	1.66%	
	1・2歳	需要数	2,087	2,337	250	111.98%
		需要率	50.73%	51.58%	0.85%	

※1 1号認定…1号認定者+新制度に移行していない私立幼稚園利用者

2、3号認定…2、3号認定者+支給認定を受けていない認可外保育施設利用者(区が把握している範囲)

※2 「作業の手引き」では、計画の需要見込みと支給認定区分ごとの潜在ニーズを比較して10%以上の乖離がある場合に見直しが必要としている。